

1 新宿区教育委員会 教育目標

子どもたちが、人権尊重の精神に基づいて自他の生命を尊び、心身ともに健康で、知性と感性に富み、郷土新宿を愛し環境を大切にする心と国際感覚をそなえ、自立した区民として成長することを願い、

- 広い視野と、自らを律し互いを認め、思いやりの心をもつ人
- 地域の一員として、規範意識や公共の精神に基づき、社会の形成に進んで参画する人
- 個性や創造力が豊かで、自ら学び、考え、行動する人

を育てる教育を推進します。

また、学校・家庭・地域との緊密な連携のもとに、豊かな文化の創造と活力に満ちた地域社会の形成を目指すとともに、誰もが生涯を通じて主体的に学ぶことができる生涯学習社会の実現を図ります。

2 新宿区立牛込第三中学校 教育目標

社会の変化に、自己を見失わず、自ら考え、主体的に判断して行動できる人の育成と、豊かな未来社会の創造を目指す。

- ① よく見、よく聞き、自分の考えをもつ。
- ② 物事をやり抜く強い意志をもつ。
- ③ 責任を果たし、みんなのために働く。
- ④ 美しいものを求め、豊かな心をもつ。

「一人一人の笑顔を大切にする

牛込第三中学校」を創る

～お互いを認め合い、自己肯定感を高める～



【生徒】

- 「知・徳・体」のバランスのとれた成長 ⇒ 自尊感情・自己肯定感
- 目標の達成（理想の実現に向けた努力） ⇒ 主体的な自己実現・達成感
- 充実した学校生活 ⇒ 自己有用感・社会性の向上

【教職員】

- 生徒の成長・目標の達成 ⇒ 高い職業観に基づく達成感・責任を果たす充実感

【保護者】

- 生徒の成長・目標の達成 ⇒ 相互理解・協働・厚い信頼感

【地域】

- 支援による生徒の成長・地域への貢献 ⇒ 協働の喜び・充実感

3 めざす学校像・生徒像・教師像

①学校像

- 安全・安心・清潔で、生徒が毎日明るく元気に笑顔で登校できる学校
- ユニバーサルデザインの視点に立った教育を推進し、生徒に確かな学力を身に付けさせる学校
- 学校に関係する全ての人が人権を尊重し、生徒に豊かな心と自己肯定感を育む学校
- 教職員の資質向上と適切な情報発信を図り、地域・家庭との連携等によって、生徒・保護者・地域から信頼される学校

②生徒像

- 自ら学ぼうとする自学自習の精神と向上心を持ち、他者と協働して互いに高めあえる生徒
- 思考力・判断力・表現力等を身に付け、それらの力を使い主体的に学習に取り組める生徒
- 生命尊重・人権尊重の理念に基づいた思いやりの心と規範意識を持ち、ソーシャルスキルを高めようと努力する生徒
- お互いの良さを認め合い、自己肯定感を高めあえる生徒
- 基本的な生活習慣を身に付け、運動の習慣を定着させ、心身ともに健康な生徒

③教師像

- 生徒の学力向上と健全育成を実現するために、日々研鑽する、指導力の高い教師
- 生徒一人一人の可能性や良さを見付け、生徒の自己肯定感を高めることができる教師
- 主体的かつ適切な判断ができ、組織の一員として、先を見通した行動ができる教師
- 教育公務員として厳正に服務・職務を遂行し、人権尊重の精神に基づいた指導を行う、信頼される教師
- 生徒や保護者の願いや相談等に、迅速かつ親身に対応する誠実な教師
- 地域・保護者との関りを大切にする、コミュニケーション力の高い教師

4 重点的な取組

中学校の最大の使命は、豊かな心と健やかな体を育み、学力を向上させることにより、将来、有為な社会人として、自立して生きていく力を育てることである。この使命を実現するための教育は、学校だけでは完成させられない。そのために、地域・家庭との連携等により、保護者・地域に信頼される存在でなければならない。

このことから、以下の3点を本校の重点的な取組とする。

- ① 授業力の向上と信頼される学習評価
- ② 豊かな心と健やかな体の育成
- ③ 保護者・地域と連携した教育の充実

5 令和7年度の重点目標と目標実現に向けた取組

目標1 生徒の学習意欲を高めるための授業改善と、適正な評価計画の作成

(1)目標実現に向けた取組

①教師の授業力向上

- これまでに習得した基礎的な知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現することを重視した学習活動の構築
- 毎時間の授業での、授業スタンダード (特に振り返り) の徹底
- 学力調査等の結果を検証し、結果を活用した授業展開を実施
- 大型ディスプレイ等、ICT機器の思考ツールの活用と、「対話的、主体的で深い学び」の推進
- 教師相互の授業観察と、その後のアドバイス・ディスカッションの実施
- 授業力向上のための外部研修への積極的な参加
- 適正な学習評価の充実（診断的評価・形成的評価・総括的評価等）

②学習意欲の向上と学習習慣の確立

- 生徒が自らの学習活動を振り返り、自身が獲得した知識・技能や育成された資質・能力の自覚と共有
- 生徒による毎時間の授業評価の活用
- 実社会や実生活に関わる主題に関する学習の積極的な導入
- 自学自習の習慣づくりのための具体的な指導
- 一人一台タブレットを活用した自学自習の意欲を促す課題、毎日家庭学習に取り組めるドリルパーク等の課題提示

(2)達成基準

- 生徒の学習量・活動量の増加（昨年度比）
- 生徒による授業評価の結果向上（昨年度比）
- 学力調査等における学習意欲、学習習慣に関する回答の向上（昨年度比）
- 自学自習の質の向上（作品や課題等、提出物の質の向上、ドリルパーク等の取組状況）
- 毎日の家庭学習時間の増加（年度当初と年度末との比較）

目標2 豊かな心と健やかな体を育む

(1)目標実現に向けた取組

①人権尊重教育・道徳授業の推進

- 平素の人権を意識した教育活動の構築と道徳授業の充実
- 道徳授業地区公開講座の充実（保護者・地域とともに生徒を育成）
- 道徳教育推進教師を中心とした道徳授業を要として、すべての教育活動を通して、生徒に豊かな心と他者に対する思いやりの心情の育成
- 「思いやりの心」「生命尊重の精神」「規範意識」「自己肯定感」「連帯感」「平和を愛する心」等の育成

②いじめの芽を摘むとともに、不登校生徒の減少

- 「牛込第三中学校いじめ防止基本計画」に沿った「未然防止」と、生徒同士の言動によるからかい・いじり・いじめ等に対する「早期発見」「丁寧な早期対応」
- 年度当初に「ホットルーム」の整備を行い、活用について不登校生徒への周知
- 生徒アンケート、hyper-QUの実施と分析

③社会性を育成する指導の充実

- 生徒会活動を中心とした生徒自身による学校改善のための自主的な自治的活動（毎日のあいさつ運動、学校生活のきまり検討、環境整備、保健衛生等）の推進
- 奉仕的な活動の充実（あいさつ運動、地域貢献、地域連携、地域行事への積極的な参加等）

④基礎体力の向上と部活動の充実

- 保健体育の授業における補強運動の充実
- 部活動における体力向上を意識した練習計画の作成と保健体育の指導との連携
- 健康教育・食育教育（保健体育科、家庭科、養護教諭、栄養士との連携）の充実

(2)達成基準

- いじめや学校生活全体に関する学校評価や調査において、肯定的な評価をする教職員・生徒・保護者の割合が90%以上
- いじめ発生件数の減少（昨年度比）
- 不登校生徒の減少と不登校生徒の登校日の増加（昨年度比）
- 生徒の体力（新体力テストの結果）の向上（昨年度比）
- 計画的な食育と健康教育の実施（通年）

目標3 保護者・地域と連携した教育活動の充実

(1)目標実現に向けた取組

①地域の教育力の活用

- 地域行事等への積極的な参加
- 地域協働学校運営協議会の充実と隣接企業との連携
- 地域清掃等、ボランティア活動の活性化
- 生徒からの要望に対し、地域協働学校運営協議会で実施に向けた対応検討

②開かれた学校づくり

- 学校だよりや学校HP等による情報発信の充実と拡大
- 学校公開や各行事等について、保護者や近隣小学校、地域への周知徹底
- 学校評価の充実と活用

(2)達成基準

- 生徒・保護者の地域教育活動への参加率の増加（昨年度比）
- 学校教育活動への地域・保護者の参加率の増加（昨年度比）